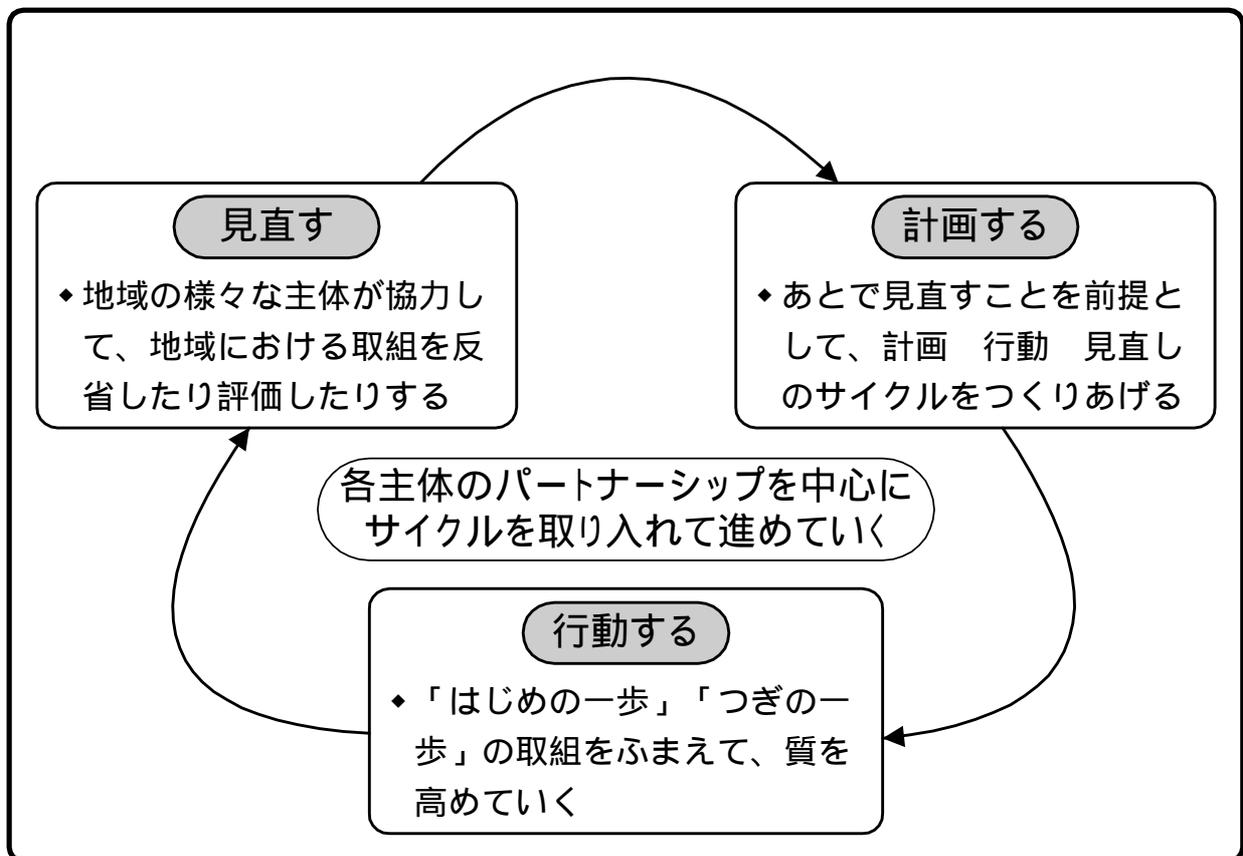


(4) さらに…

❖ 「持続可能な地域づくり」を目指して

- 「きっかけ」「はじめの一步」「つぎの一步」の段階を経て、取組が地域に根づいてきたら、「持続可能な地域づくり」を総合的、体系的なものにしていきましょう。
- 計画する 行動する 見直す (Plan - Do - Check) のサイクルを取り入れ、取組の質をより高めていきましょう。
- 「計画する」「行動する」「見直す」の全ての段階を、行政、住民、事業者、民間団体のパートナーシップを中心に進めていきましょう。



「持続可能な
地域づくり」へ

計画・行動のフォローアップ

持続可能な地域づくりを目指した計画、行動の成果や課題を整理、評価し、よりよい地域づくりを進めましょう。

そのためには、フォローアップの仕組み、体制づくりが重要です。地域づくりにかかわるすべての主体が協力して、地域づくりをレベルアップしていきましょう。

【事例1】長野県飯田市 環境計画年次報告書「環境レポート」

長野県飯田市では、平成8年度に「21いいだ環境プラン」を策定しました。プランの主要な施策は「21のリーディング事業」としてまとめ、主な項目に対して数値目標を設定しています。リーディング事業の実施状況、市民の意識や行動に関するアンケート調査、数値目標の達成状況などを示した年次報告書「環境レポート」を公表し、目標の達成状況などを踏まえて施策の見直しなどを行っています。

参考：<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyo/index.htm>

<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyo/report/main.htm>

高橋秀行(2000)「市民主体の環境政策上下」(公人社)

【事例2】神奈川県川崎市 環境基本計画年次報告書

川崎市の環境基本条例では、基本計画の適正な進行管理を図るため、市の環境の現状、環境の保全及び創造に関して講じた施策等について年次報告書を作成し、公表することが義務づけられています。また、年次報告書に対し市民は意見書を提出することができ、市長は年次報告書について環境政策審議会の意見を聴くことを義務づけられています。

参考：<http://www.city.kawasaki.jp/16/16housei/home/reiki/honbun/c4000492041401311.html>

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30kantyo/home/nenjihoukoku/nennjihoukokusyo.htm>

北村喜宣(2001)「自治体環境行政法第2版」(良書普及会)

【事例3】福岡県福岡市 環境基本計画推進委員会

福岡市では、環境基本計画の進捗を管理するために、環境に関する年次報告書を公表し、学識経験者を含む環境基本計画推進委員会が開催されています。

参考：<http://kankyo.city.fukuoka.jp/eco/data/index.html>

【事例4】事例多数 ISO14001 認証の取得

地方自治体においても環境マネジメントシステム ISO14001 認証の取得が進んでいます。ISO14001に限らず、環境マネジメントシステムの導入によって、行政が自らの率先行動、環境対策を組織的に進めることができるといえます。